

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)梅津段町計画	階数	5
建設地	京都市右京区梅津段町13番1	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域・第1種住居地域	平均居住人員	138人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年1月 予定	評価の実施日	2019年8月1日
敷地面積	1,203.50 m ²	作成者	土岐雅宣
建築面積	685.30 m ²	確認日	
延床面積	2,689.52 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

環境品質 G

環境負荷 L

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%

②建築物の取組み 76%

③上記+②以外の 72%

④上記+ 72%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能

Q1 室内環境

Q3 室外環境(敷地内)

LR1 エネルギー

LR2 資源・マテリアル

LR3 敷地外環境

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

音環境 2.7

温熱環境 2.8

光・視環境 3.6

空気質環境 3.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

機能性 3.1

耐用性 2.8

対応性 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.4

生物環境 1.0

まちなみ 3.0

地域性・ 3.0

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.3

建物外皮の 3.0

自然エネ 3.0

設備システ 3.6

効率的 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.7

水資源 2.2

非再生材料の 2.9

汚染物質 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

地球温暖化 4.1

地域環境 2.4

周辺環境 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	メインのバルコニーはガラス手摺、その後ろに下がった位置にあるサービスバルコニーは格子手摺で、凹凸を繰り返してリズムカルで陰影の深いモダンな印象を与えます。外壁はアースカラーを採用することでナチュラルでエレガントな雰囲気演出します。	その他 特になし。
Q1 室内環境	積極的に内装仕上及び天井裏の仕様材料にF☆☆☆☆を採用し、シックハウス対策にも取り組んでいます。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー	太陽光パネルを設置することでノンカーボンの実現に微力ながら貢献しています。	LR3 敷地外環境
Q2 サービス性能	劣化対策等級3を取得予定で住宅の品質確保に努めています。	
LR2 資源・マテリアル	地域産木材の利用に努めます。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される